

銅賞

リヤアクスルビーム脱着治具

[東京都支部] ヨタL&F東京(株)
サービス部 狩野 貴徳

【考案の動機】

フォークリフトのリヤアクスルビームの脱着作業は頻繁に行われるものではありませんが、現場では定期的な発生する重要な作業です。作業頻度が低いため、専用の治具が用意されておらず、従来はガレージジャッキの皿に直接ビームを載せて脱着作業を行っていました。しかし、ジャッキ皿の面積が小さいため長尺のビームを載せると不安定になり、落下の危険性がありました。

【考案の内容】



リヤアクスルビーム取付位置

【考案の効果】

本治具は、1～4.5トン系フォークリフトのリヤアクスルビームに対応しており、汎用性に優れています。使用しない際は治具を取り外すことで、ガレージジャッキ本来の機能をそのまま活用できるため、工場内のスペースを有効に使うことができます。

銅賞

軌陸装置脱着治具

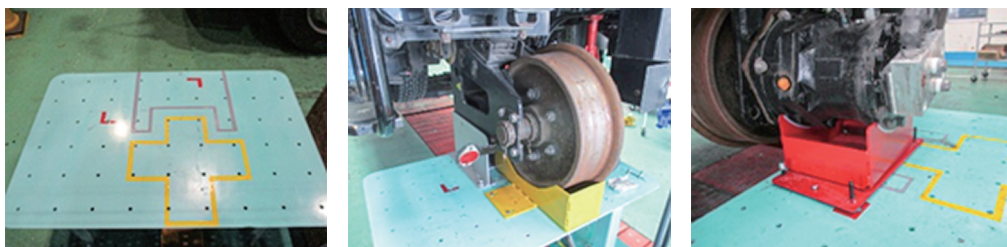
[福岡県支部] (株)アイチコーポレーション
九州中央CSC 木村 大地

【考案の動機】

軌陸装置整備は、鉄輪や走行モーター等の重量物脱着が多く発生する。従来はテーブルジャッキに枕木を使用して脱着を行っていたので部品転倒や落下によるケガのリスク・治具設置時間等にて問題が多く苦渋作業となっていた。

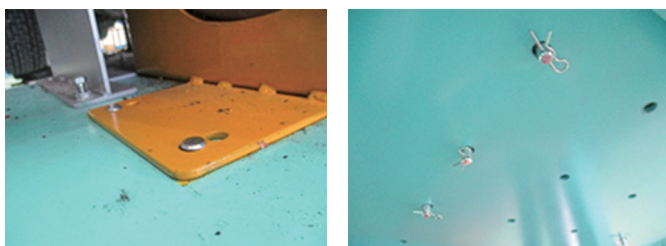
その為安全性向上・作業時間低減を目的とし本治具を作成した。

【考案の内容】



専用作業台及び3種類のアタッチメント作成。

専用作業台にはアタッチメントの色に対してラインを引いている為、設置場所の見える化を行った。



クレビスピンとBピンにてアタッチメントを固定

アタッチメント脱着の容易化・微調整が行える。

また、専用作業台には等間隔で穴を開けている為、新たにアタッチメントを作成しても併用が可能。他機種・作業でもケガ発生リスク・作業時間低減を見込めるので、今後、課内にて苦渋作業の洗い出しを実施、それに応じたアタッチメントを作成予定。

【考案の効果】

低減時間（各軌陸装置脱着作業）

改善前 28,758秒

改善後 24,858秒 3,900秒の低減